

第4号
8/1

生活支援コーディネーター ～ 耳より情報局 ～

平成 28 年度から活動している生活支援コーディネーター。

住民が持つ情報、地域の力、専門職のスキル、企業の力を生かして、住民主体で高齢者生活支援体制を構築する（コーディネートする）のが生活支援コーディネーターの役割です。

そんな生活支援コーディネーターの活動情報を届ける「耳より情報局 第4号」です！

特集：コロナ禍の高齢者生活支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、高齢者の「きょういく」「きょうよう」の場でもある「集いの場」の開催自粛が続いています。そのような中でも、生活支援コーディネーターはこれまで培ってきたネットワークを活かして「住民同士のつながりづくり」を取り組んでいます。

◎大学生×福祉委員会×吹田市社協＝手書きの手紙で高齢者を元気に！

緊急事態宣言の発出が間近に迫り、高齢者の罹患は重症化につながると連日報道されていた3月下旬。

五月が丘地区福祉委員会は、定期的に高齢者宅を訪問する中で「外出自粛で生活に影響が出ている」と感じ、吹田市社協に伝えていました。大阪大学学生グループ「すいすい吹田」は、外出自粛が高齢者に影響を与えていることを危惧し「何か出来ることはないか」と大阪府北部地震と一緒に被災者支援に取り組んだ吹田市社協に相談しました。

吹田市社協の生活支援コーディネーターは「すいすい吹田」が大阪府北部地震後に五月が丘地区で防災活動を続けていたことから五月が丘地区福祉委員会との連携や活動方法等をコーディネートし、地区担当CSWは福祉委員会との連絡調整を行いました。

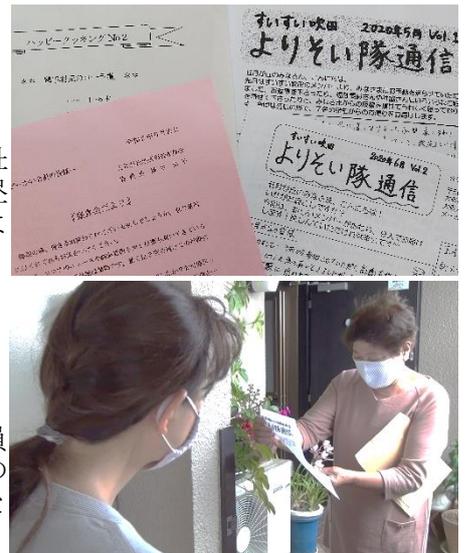
緊急事態宣言下、オンライン会議やSNSで検討を続けること約1ヶ月。

五月が丘地区福祉委員会が一人暮らし高齢者に配布している生活支援情報に「すいすい吹田」が書いた手書きの手紙（よりそい隊通信）を加えて届ける活動が始まりました。

大学生から思わぬ手紙（通信）を貰った高齢者は、驚き、喜び、そして福祉委員さんに感想を伝えてくれました（下記参照）。

五月が丘地区福祉委員会が配る「昼食会だより」と「よりそい隊通信」。

馴染みの福祉委員さんが訪問するので、長話になることも…。



どこかで陰ながら見守ってくれている、気にかけてくださっている学生さんがいることを知りました。隣の娘さんに声をかけられた気分で、大変うれしく感謝の一言です。

磯野家(サザエさん)の裏の老夫婦の気分です。来年、一部の方は卒業ですか？淋しくなります。これからも、気にかけていただければ嬉しいです。 (五月が丘地区の一人暮らし高齢者)

この取り組みはNHK、関西TV、MBS、毎日新聞、ふくしおおさか等で紹介されました！

◎集いの場を「eコミュニティ・プラットフォーム (ICT ツール)」で可視化!

すいたの年輪ネットで改訂し発行した「吹田市高齢者生活サポートリスト集いの場 編」。吹田市内の300を超す集いの場を一覧にし、市内6ブロック毎に発行しました。

すいたの年輪ネットで「ホームページで簡易に検索できたら使いやすい」「写真があると雰囲気わかりやすい」などの意見も頂き、更なる改良に取り組みました!

新たに導入するのは、防災科学技術研究所が開発し全国の社会福祉協議会で導入が進む「eコミュニティ・プラットフォーム」。

地図上に集いの場を表示するのはもちろん、詳細な情報や写真・動画も掲載できるというスグレモノです。



現在はコロナ禍で開催自粛となっている集いの場。再開後に高齢者に情報提供できるようにCSW、地域包括支援センターの操作研修終了後に、吹田市社協ホームページで公開します。

◎「きららとあそぼ!」を配信中!

先ほど紹介したeコミュニティ・プラットフォームを活用した取り組み第2弾!

おじいちゃん・おばあちゃん(高齢者)が、お孫さんと会う(遊ぶ)時のツールとして、またコロナ禍での子育て支援のツールとして作成しました。

動画撮影には吹田市社協施設連絡会に加盟する私立保育園に協力頂きました。
※タイトルコール/エンディングコールも園児です!



吹田市社会福祉協議会ホームページ中段の「新着情報」からアクセス!
※今後、施設連絡会加盟の高齢者施設の協力も得てレクリエーション等の動画も配信予定!

← スマホはコチラ♪

令和2年8月発行

生活支援コーディネーター
～耳より情報局～

編集・発行 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 電話 (06) 6339-1254 担当: 新宅